

国場川こいのぼりまつり -少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに 誇りを・・・そんな街に住みたい！-

1 社会資本の概要

与那原町・南風原町付近から西に向かって流れる国場川は、豊見城市と那覇市の境界をぬって、ラムサール条約に基づいて登録された湿地保全区域である漫湖に注ぎ、那覇港を経て東シナ海に注いでいます。昭和47年の本土復帰前の那覇市仲井真地域は、農業が盛んな地域であり、地域の中央を流れる国場川は子どもたちが川遊びや魚釣りを楽しんだり、豆腐づくりに使用する海水を汲んだりすることができる清流でした。しかし、復帰後は開発が進み、川へ汚水が流れ込み、全国でもワーストに入るほどの汚い川になってしまいました。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

本地域は、本土復帰以降の急激な都市化に伴い人口が増加し、コミュニティ機能が低下していました。また、地域の中央を流れる国場川も流域の急速な開発とともに河川環境の悪化などの問題も発生していました。そのため、地域から問題解決を求める声が聞こえるようになりました。地域環境の改善を目的として地元有志が「国場川に清流を取り戻す会」を誕生させ「子どもたちのふるさとづくり」の一環として、手づくりこいのぼりによる「国場川こいのぼりまつり」を行うとともに川沿いの清掃や植栽を行うなど河川環境の改善に取り組んでいます。

また、地元小学校の「総合的な学習」の時間にシニア世代が授業に参加することにより世代間の交流に広がり、さらにボランティア活動へ地元の中・高校生が参加することで、より一層の世代間交流を深めることができています。



手づくりのこいのぼり



学生による伝統エイサーがまつりに花を添える



地元小学校での「総合的な学習」の様子



清掃活動前の説明の様子

沖縄県 那覇市

国場川に清流を取り戻す会



3 活動の成果や波及効果等

20年間継続した活動の結果、地域のコミュニティは活発となり国場川は若い二人の人生の門出の場所としても選ばれるようにまでなりました。また、子どもの時にイベントに参加した世代が、親の世代となり子とともに参加するなど世代のつながりが広がっています。



結婚記念の写真撮影



手づくりのこいのぼりを作成中

喜びの声



受賞者

国場川に清流を取り戻す会 会長 嘉数芳則

コメント

気が付けば「国場川こいのぼりまつり」は20回目。まつりを通して人の輪が広がり、さらに思いがけない「手づくり郷土賞（一般部門）」の受賞で関係者一同感激しています。改めて地域の皆様に感謝します。～少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを・・・そんな街に住みたい！～を合言葉に頑張ります。

活動内容

手づくりこいのぼりまつり、
地元小学校の総合的な学習への参加
河川周辺の清掃活動 など

活動の経緯

平成9年～ 毎年5月に「国場川こいのぼりまつり」
を開催・河川周辺の清掃活動
平成13年 サガリバナ植栽プロジェクト
平成23年 国場川さくら並木プロジェクト事業

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

沖縄県那覇市

活動主体及び連絡先

国場川に清流を取り戻す会 (098-853-8492)

対象となる社会資本

二級河川 国場川 ※管理者：沖縄県

